

# 3年 学級活動（3）指導案

令和5年6月5日（月）第5校時

1 研究テーマ 未来を見つめ、自己実現を図る力を育成するキャリア教育の推進  
～「非認知能力」の向上を目指して～

2 題材 「考えよう！将来の自分の姿」  
内容(3) ウ 主体的な進路の選択と将来設計

3 生徒の実態と題材設定の理由  
※ 省略



4 単元と研究主題との関わりについて

本題材では、将来のライフプランを想像し、クラスメイトの意見に触れる活動を通して、将来の姿を考える授業となっている。自分の将来を想像することで、自己実現を図るために必要なものは何かを具体的に考える事ができる。また、本校は、生徒の非認知能力が上がれば、キャリア発達にも関わる基礎的・汎用的能力の上がるだろうという仮説の下研究に取り組んでいる。非認知能力とは、主に意欲・意志・情動・社会性に関わる学力では図れない能力のことである。グループの中で自分の意見を発表し、自分の意見に共感してもらったり、他者の意見を聞いたりする活動を通して考えを深めていくことで、非認知能力の向上に関係すると考える。将来の姿を想像し、進路実現に向けて前向きに取り組んでいこうとする態度を育てたい。

## 5 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。</li> <li>• 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために必要な知識及び技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分らしい生き方の実現に向け、現在の学習や将来の進路についての課題を見いだしている。</li> <li>• 主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 将来の生き方を見通したり、現在の生活や学習を振り返ったりしようとしている。</li> <li>• 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。</li> </ul>

## 6 事前の指導

日時 活動の場	生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】（評価方法）
5月23日 朝の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アンケートの実施 働くことについてや、将来の自分がどういう姿になっているかについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• アンケートを通して、将来の自分について見つめられるようにする。</li> </ul>	◎将来どんな姿になっていたか、なりたい自分について考えている。 【態】（アンケート）
5月31日 学活 (1/2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 未来の社会について考える。</li> <li>• アンケート調査の結果を知り、将来についての考えを共有する。</li> <li>• 学級全体でライフイベントを考える。</li> <li>• 自分の将来を想像し、イラストと文章にまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ Society5.0 の紹介動画を紹介しながら将来への期待をもてるようにする。</li> <li>※ 将来への関心が高まるよう指導する。</li> <li>※ 「世界は誰かの仕事でできている」というキーワードを基に、働く理由を考えたことを思い出せるようにする。</li> <li>※ 日本の平均的なライフプランの例を提示し考えやすいようにする。</li> <li>※ 意見が偏りすぎないようにする。</li> <li>※ ワークシート①</li> </ul>	◎働くことの意義を意識し、現在の生活を振り返りながら将来の生き方を見通そうとしている。 【態】（観察・ワークシート①）

7 本時のねらい

将来の自分を想像し、なりたい自分の姿に向けて、これから努力していくことを決めて実践できるようにする。

8 展開

	生徒の活動	○指導上の留意点 ※非認知能力との関わり	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
導入 5分 【つかむ】	1 前時の授業を振り返る。 ・未来の社会について考える。 ・アンケート調査の結果を知り、将来についての考えを共有する。 ・いろいろなライフイベントがあることを知る。	○将来への関心が高まるよう助言する。	
展開 35分 【さぐる】 【見つける】	2 ワークシートをもとに想像した自分の将来を実現させるために必要なことを考える。  3 想像した自分の将来の姿と、実現させるために必要なことを発表する。 ・自分の意見を班で発表し様々な意見を聞く。 ・班で出た意見をまとめ、学級全体に発表する。  4 想像した自分の将来について加筆修正をする。	○ワークシート②を配布する ○具体的に考えられるように助言する。 ○必要なことが思い浮かばない場合は、これからどんな学習や経験をしていくと良いかを考えられるよう助言する。  ○司会・記録者・発表者を決めてから話し合いを進めるよう助言する。 ○友達の意見を聞きながら、いろいろな価値観に触れられるようにする。 ○友達の考えを肯定的にきちんと聞くことができるよう助言する。 ※他者の意見を聞き、自分の意見に自信を持つことができる。(自己効力感)  ○事前に書いたものは消さずに、加筆修正するよう指示する。 ○無理矢理修正する必要はないことを助言する。	
終末 15分 【決める】	5 「将来を実現させるために、今日から頑張ること」を記入し、なりたい自分に向けてやるべきことを意思決定する。  6 自分の考えを発表する。	○自分の考えや、友達の意見を聞いて感じたことをまとめるようにする。	◎将来の自分を見通し、具体的にどんなことをすべきか考え自己実現を図ろうとしている。 【態】(発表・観察・ワークシート②)

## 9 事後の指導

生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】（評価方法）
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「今日から頑張ること」が実行できるように取り組む。</li> <li>• 1 ヶ月後にワークシートで振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ワークシートを教室掲示し、常に自分の目標を意識できるようにする。</li> </ul>	<p>◎なりたい自分に向けて、自分の立てた目標に粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>【態】（観察）</p>